

# 平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況 (連結)

平成 16 年 1 月 26 日

上場会社名 NECフィールドイング株式会社

(コード番号: 2322 東証第 1 部)

(URL <http://www.fielding.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 富田 克一

問合せ先責任者 役職名 コーポレート・コミュニケーション部長 吉田 叔弘

TEL(03)3457-7153

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における : 有

方法との相違の有無

(内容)

・法人税等の計上基準

法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

## 2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期業績の概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

### (1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16 年 3 月期第 3 四半期	180,597 3.9	10,668 7.7	10,700 8.9
15 年 3 月期第 3 四半期	173,891 -	9,901 -	9,826 -
(参考) 15 年 3 月期	240,127	15,160	15,122

	四半期 (当期) 純利益	1 株 当 たり 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益
	百万円 %	円 銭	円 銭
16 年 3 月期第 3 四半期	6,027 6.1	221 03	_____
15 年 3 月期第 3 四半期	5,680 -	227 39	_____
(参考) 15 年 3 月期	8,140	318 66	_____

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示す。

### (2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株 主 資 本 比 率	1 株 当 たり 株 主 資 本
	百万円	百万円	%	円 銭
16 年 3 月期第 3 四半期	125,035	47,174	37.7	1,729 90
15 年 3 月期第 3 四半期	117,065	39,454	33.7	1,446 81
(参考) 15 年 3 月期	122,632	41,891	34.2	1,536 17

### 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	現 金 及 び 現 金 同 等 物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16 年 3 月期第 3 四半期	859	1,481	932	2,044
15 年 3 月期第 3 四半期	6,230	691	5,681	2,643
(参考) 15 年 3 月期	12,976	906	9,537	5,318

## 3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	253,000	16,500	12,000

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 440 円 04 銭

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、既知・未知のリスクや不確定な要素などの要因により、実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があります。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等](平成15年4月1日～平成15年12月31日)

当第3四半期におけるわが国の経済は、一部に景気の持ち直しに向けた動きがあったものの、依然としてデフレ環境の中、株式市況、為替変動、雇用情勢、個人消費、海外経済の動向など不安定に推移いたしました。

このような環境のもとで、当社グループ(当社及び連結子会社エヌデック株式会社)は、IT関連事業のアフターサポートサービス領域に経営資源を集中させ、CS(お客さま満足度)の向上を基軸とした事業運営を引き続き遂行いたしました。

平成15年10月から12月迄の四半期のトピックスとしては、平成9年から導入した経営品質向上プログラムに基づく、経営品質改革活動が評価されて、財団法人 社会経済生産性本部が主催する2003年度「日本経営品質賞(大規模部門)(注1)」を受賞いたしました。またCS向上活動の成果として株式会社J.D.パワー アジア・パシフィック(注2)が主催する「2003年 ソリューションプロバイダー顧客満足度調査(保守・サポート編)」で顧客満足度第一位の評価を2年連続で獲得いたしました。また事業の成長と収益の拡大を推進する施策としてマルチベンダ対応力の更なる強化とグローバル市場におけるサポートサービス事業の本格展開をめざし、クアンタムコーポレーション社と保守サービス事業とロジスティクス分野で業務提携することに基本合意しました。さらに企業の社会的責任を果す活動の成果として日本経済新聞社が主催した「第7回環境経営度調査(非製造業部門)」で第一位の評価をいただきました。

(注1) 日本経営品質賞は、米国のマルコム・ボルドリッジ国家品質賞(MB賞)を範として、顧客の視点から経営全体を運営し、自己変革を通じて新しい価値を創出し続けることのできる「卓越した業績を生み出す経営の仕組み」を有する企業の表彰を目的に、平成7年に創設された表彰制度です。

(注2) 株式会社J.D.パワー アジア・パシフィックは、顧客満足度に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関です。

これらの活動を展開する中、当第3四半期の連結業績は、前年同期比で増収増益となりました。

売上高については、プロアクティブ・メンテナンス事業では、ビジネス保守サービスのマルチベンダー保守やパーソナル保守サービスでの個人向けサポート売上は増加しましたが、保守対象機器のオープン化やダウンサイジング化が進行したことによる維持契約保守の減少と、製品品質の向上による未契約保守などの減少があり、売上高899億56百万円と前年同期比2.4%の減収となりました。フィールドینگ・ソリューション事業では、ソリューションサービスにおいて、保守契約いただいているお客さまを中心に積極的なサポートサービスを提案し、システムアップグレードサービスや導入支援サービスで伸長を図ったことにより、売上高906億41百万円と前年同期比11.0%の増収となりました。この結果、売上高全体では1,805億97百万円と前年同期比3.9%の増収となりました。

経常利益については、引き続きローコストワーク活動を全社レベルで展開したことなどにより、107億円と前年同期比8.9%の増益となりました。四半期純利益についても60億27百万円と前年同期比6.1%の増益となりました。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等](平成15年4月1日～平成15年12月31日)

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は前第3四半期末に比べ5億98百万円減少し、20億44百万円となりました。

当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは8億59百万円の支出となり、前第3四半期に比べ70億89百万円の支出増となりました。

これは税金等調整前四半期純利益を104億53百万円計上したこと等による資金の増加がありましたが、一方で法人税等の支払額が111億37百万円と前第3四半期に比べ59億36百万円増加したことや、売上債権の減少額が前第3四半期は49億38百万円であったのに対し、当第3四半期は19億33百万円と減少幅が縮小したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは14億81百万円の支出となり、前第3四半期に比べ7億89百万円の支出増となりました。

これは、当第3四半期にCS向上、経営基盤の強化を図るための社内ITシステムのハードウェア及びソフトウェアを新たに取得したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは9億32百万円の支出となり、前第3四半期に比べ47億48百万円の支出減となりました。

これは、前第3四半期は新株発行によって得た資金157億57百万円及び手許資金を使用して210億2百万円の借入金を返済しましたが、当第3四半期は借入金の返済額が1億19百万円であったこと、並びに当第3四半期の配当金の支払額が8億13百万円と前第3四半期に比べ3億76百万円増加したことによるものであります。

[業績予想に関する定性的情報等] (平成15年4月1日～平成16年3月31日)

国内外の経済環境は、一部に改善領域があるものの、依然として厳しい状況にあり、ITサポートサービス市場における企業間競争は一層熾烈になるものと予想されます。

このような環境下にあっても、CSを基本とした事業運営を遂行した結果、当社グループの当第3四半期の業績は概ね計画通りに推移しており、通期の売上高及び経常利益の予想に修正はありません。当期純利益につきましては、当社が加入するNECフィールドینگ厚生年金基金が、平成16年1月1日に厚生労働大臣から代行部分の過去分返上の認可を受けたことに伴う特別利益約85億円及びコンピュータ、通信機器製品の急激な技術革新に伴い、保守部品の著しい陳腐化が発生したため、たな卸資産の一部について評価減することによる特別損失約30億円の計上を予定しており、120億円(前回予想89億円)に上方修正いたします。

参考・平成16年3月期の単体業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
				期	末
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通期	251,600	16,400	11,950	15	00
				30	00

1株当たりの予想当期純利益(通期)438円21銭

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、既知・未知のリスクや不確定な要素などの要因により、実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があります。

以上

添付資料

- ・ 四半期連結(要約)貸借対照表
- ・ 四半期連結(要約)損益計算書
- ・ 四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書
- ・ 受注及び販売の状況

# 1.(1) 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	平成 16 年 3 月期 第 3 四半期末 (平成 15 年 12 月 31 日)		平成 15 年 3 月期 第 3 四半期末 (平成 14 年 12 月 31 日)		前年同期比 増減額	(参考) 平成 15 年 3 月期 (平成 15 年 3 月 31 日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流動資産	105,081	84.0	98,659	84.3	6,422	104,061	84.9
現金及び預金	2,044		2,643		599	5,318	
受取手形及び売掛金	63,818		60,219		3,599	65,752	
たな卸資産	27,696		26,093		1,603	25,814	
繰延税金資産	5,885		5,508		376	5,622	
その他	5,702		4,223		1,479	1,581	
貸倒引当金	67		30		37	28	
固定資産	19,953	16.0	18,405	15.7	1,547	18,571	15.1
有形固定資産	4,438	3.6	4,084	3.5	354	3,928	3.2
無形固定資産	2,261	1.8	1,645	1.4	616	1,871	1.5
投資その他の資産	13,252	10.6	12,676	10.8	576	12,771	10.4
繰延税金資産	8,111		7,344		767	7,620	
その他	5,376		5,563		186	5,281	
貸倒引当金	236		231		4	131	
資産合計	125,035	100.0	117,065	100.0	7,969	122,632	100.0
(負債の部)							
流動負債	55,221	44.2	56,214	48.0	992	59,122	48.2
支払手形及び買掛金	38,137		34,876		3,260	38,902	
短期借入金			3,947		3,947	119	
未払費用	6,472		6,153		318	8,460	
未払法人税等	5,370		6,565		1,194	7,235	
その他	5,241		4,671		569	4,404	
固定負債	22,638	18.1	21,396	18.3	1,242	21,618	17.6
退職給付引当金	22,610		21,325		1,284	21,546	
役員退職慰労引当金	22		63		40	65	
連結調整勘定	5		6		1	6	
その他	0		0			0	
負債合計	77,860	62.3	77,610	66.3	249	80,741	65.8
(資本の部)							
資本金	9,670	7.7	9,670	8.2		9,670	7.9
資本剰余金	10,161	8.1	10,161	8.7		10,161	8.3
利益剰余金	27,338	21.9	19,669	16.8	7,669	22,129	18.0
その他有価証券評価差額金	4	0.0	46	0.0	50	69	0.0
資本合計	47,174	37.7	39,454	33.7	7,719	41,891	34.2
負債及び資本合計	125,035	100.0	117,065	100.0	7,969	122,632	100.0

## 1.(2) 四半期連結(要約)損益計算書

・平成16年3月期 第3四半期：9ヶ月通算(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

(単位:百万円)

期 別 科 目	平成16年3月期 第3四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)		平成15年3月期 第3四半期 (自平成14年4月1日 至平成14年12月31日)		前年同期比		(参 考) 平成15年3月期 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	増減額	増減率	金 額	百分比
売 上 高	180,597	100.0	173,891	100.0	6,706	3.9	240,127	100.0
売 上 原 価	150,950	83.6	146,907	84.5	4,043	2.8	202,038	84.1
売 上 総 利 益	29,646	16.4	26,984	15.5	2,662	9.9	38,089	15.9
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	18,978	10.5	17,082	9.8	1,896	11.1	22,929	9.6
営 業 利 益	10,668	5.9	9,901	5.7	766	7.7	15,160	6.3
営 業 外 収 益	171	0.1	229	0.1	58	25.5	289	0.1
営 業 外 費 用	138	0.1	305	0.1	166	54.5	327	0.1
経 常 利 益	10,700	5.9	9,826	5.7	874	8.9	15,122	6.3
特 別 利 益	4	0.0	157	0.1	153	97.4	184	0.1
特 別 損 失	250	0.1	53	0.1	197	373.3	324	0.2
税金等調整前四半期(当期)純利益	10,453	5.8	9,930	5.7	523	5.3	14,982	6.2
法人税、住民税及び事業税	5,226	2.9	6,550	3.7	1,324	20.2	9,520	3.9
法 人 税 等 調 整 額	800	0.4	2,301	1.3	1,500	65.2	2,677	1.1
四半期(当期)純利益	6,027	3.3	5,680	3.3	346	6.1	8,140	3.4

### 1.(3) 四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

・平成16年3月期 第3四半期：9ヶ月通算(平成15年4月1日～平成15年12月31日)

(単位:百万円)

期 別 科 目	平成16年3月期 第3四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	平成15年3月期 第3四半期 (自平成14年4月1日 至平成14年12月31日)	(参考) 平成15年3月期 (自平成14年4月1日 至平成15年3月31日)
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	10,453	9,930	14,982
減価償却費	737	613	851
退職給付引当金の増減額(減少: )	1,064	1,465	1,685
売上債権の増減額(増加: )	1,933	4,938	849
たな卸資産の増減額(増加: )	1,882	619	989
仕入債務の増減額(減少: )	774	4,259	227
未払費用の増減額(減少: )	1,986	2,006	300
その他	727	264	784
小 計	10,273	11,563	18,516
法人税等の支払額	11,137	5,201	5,153
その他	4	132	386
営業活動によるキャッシュ・フロー	859	6,230	12,976
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	941	203	244
無形固定資産の取得による支出	688	262	571
その他	148	226	89
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,481	691	906
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少: )	19	20,560	24,240
長期借入金の返済による支出	100	442	590
株式の発行による収入		15,757	15,757
配当金の支払額	813	436	464
財務活動によるキャッシュ・フロー	932	5,681	9,537
現金及び現金同等物の増減額(減少: )	3,274	142	2,532
現金及び現金同等物の期首残高	5,318	2,786	2,786
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,044	2,643	5,318

## 2.(1)四半期財務情報作成のための基本となる事項

当社は、中間連結財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

〔簡便な手続きの内容〕

法人税等の計上基準：法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

## (2)会計方針の変更

該当事項はありません。

### 3. 受注及び販売の状況

・平成16年3月期 第3四半期：9ヶ月通算（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

受注実績

受注高

（単位：百万円）

期 別 区 分	平成16年3月期 第3四半期 （自平成15年4月1日 至平成15年12月31日）		平成15年3月期 第3四半期 （自平成14年4月1日 至平成14年12月31日）		前年同期比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減 額	増減率
プロアクティブ・メンテナンス事業	90,456	48.5	92,554	52.1	2,098	2.3
フィールドینگ・ソリューション事業	96,024	51.5	85,094	47.9	10,929	12.8
合 計	186,480	100.0	177,649	100.0	8,830	5.0

（注）. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

受注残高

（単位：百万円）

期 別 区 分	平成16年3月期 第3四半期末 （平成15年12月31日）		平成15年3月期 第3四半期末 （平成14年12月31日）		前年同期比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減 額	増減率
プロアクティブ・メンテナンス事業	7,810	39.1	7,925	45.6	114	1.5
フィールドینگ・ソリューション事業	12,170	60.9	9,465	54.4	2,704	28.6
合 計	19,980	100.0	17,391	100.0	2,589	14.9

（注）. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

（単位：百万円）

期 別 区 分	平成16年3月期 第3四半期 （自平成15年4月1日 至平成15年12月31日）		平成15年3月期 第3四半期 （自平成14年4月1日 至平成14年12月31日）		前年同期比	
	金 額	構成比	金 額	構成比	増 減 額	増減率
プロアクティブ・メンテナンス事業	89,956	49.8	92,208	53.0	2,252	2.4
フィールドینگ・ソリューション事業	90,641	50.2	81,682	47.0	8,958	11.0
合 計	180,597	100.0	173,891	100.0	6,706	3.9

（注）. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。